

発令情報	警戒レベル 1 早期注意情報 (気象庁)	警戒レベル 2 注意報 (気象庁)	警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル 4 避難勧告 避難指示 (緊急)	警戒レベル 5 災害の発生
発令状況	5日先までに警報級の現象が予想される状況です。	注意報が発表されている状況です。	警報などが発表され、被害が発生する危険度が高まった状況です。	土砂災害警戒情報などが発表され、被害が発生する危険度が非常に高い、あるいは被害が発生し始めた状況です。	災害が発生した状況です。
住民の皆さんの取るべき行動	最新の気象情報などに注意 	避難場所や経路を再確認 	高齢者等は避難 	速やかに避難 	命を守る最善の行動

危険度 高

※必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。 ※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

ふだんから地域のつながりが大切です

過去の大震災で家の下敷きになった人々の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。大規模災害時の救助や避難などには、ふだんの近所づきあいが力を発揮します。また、高齢者や障害者の方などへの心配りが大切になります。

ふだんからお互いに声をかけあうと



いざというとき、助け合える。

高齢者や障害者などは、避難することが困難であったり、遅れたりすることがあるため、地域の皆さんで協力して助け合いましょう。

目の不自由な方には



杖を持っていない側にまわり、肩やひじのあたりを持ってもらい、半歩前をゆっくりと歩きましょう。

一人暮らしのお年寄りの方には



特に一人暮らしの高齢者には、普段から気を配りましょう。

耳が不自由な方には



話すときは近くまで寄って相手にまっすぐ顔をむけて口を大きくはっきりと動かしましょう。

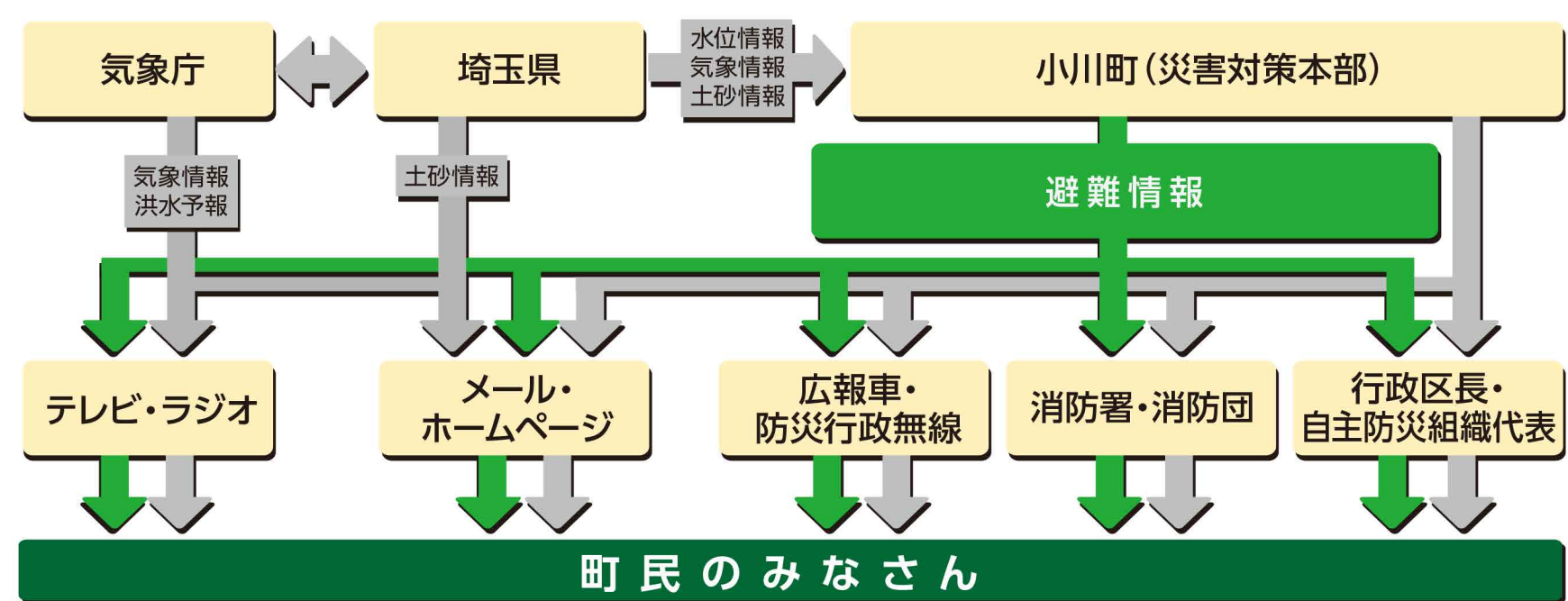
体の不自由な方には寝たきりの方には



車いすの場合は必ず3人以上で協力し、上がる時は前向き、下がる時は後ろ向きで避難しましょう。

※外国人の方は、避難情報等が理解できないおそれがあります。周囲の方が声をかけ、一緒に避難しましょう。

情報伝達ルート



情報を集めましょう

テレビで情報確認

テレビのdボタンの使い方

災害情報が確認できます

①リモコンのdボタンを押す
②「防災・生活情報」を選択する

メールを受け取る

おがわ情報メール

災害時に小川町から避難情報等を配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール logawatown.1221@yb74.asp.cenote.jp を送信

電話で調べる

音声確認サービス

防災行政無線の内容を電話で確認できます。

0800-800-9744 (通話無料)

インターネットで調べる

埼玉県土砂災害警戒情報システム

埼玉県では、土砂災害から県民の生命と財産を守ることを目的に、警戒避難に役立つ情報として、「埼玉県土砂災害警戒情報システム」の運用を開始しました。このシステムは、熊谷地方気象台と埼玉県が共同で発表する「土砂災害警戒情報」や、土砂災害発生時の危険度などをリアルタイムで確認することができます。台風などの大雨に対する備えや避難準備にご活用ください。

地域の防災

自主防災組織(行政区・自治会)が中心となって開催される行事で、地域の防災に関する取り組みを知ることができます。また、参加型の防災訓練では、安否確認や救出・救護、炊き出しや避難訓練などを体験できます。

防災知識の普及



防災イベントの実施、回覧板を使った啓発など

日ごろの確認・点検



地域内における燃えやすいものや、ブロック塀、看板等、倒れやすい物の点検など

日ごろからの備えがいざという時必ず役に立ちます

避難勧告等が出されなくても「自分の身は自分で守る」という考え方で身の危険を感じたらちゅうちょなく避難しましょう。

防災資機材の整備

ヘルメット、消火器、担架、ハンマーなどの作業道具、救急医薬品、非常食品等の防災資機材や備蓄品の整備・管理など



防災訓練の実施

情報の収集・伝達訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練、救出救護活動訓練、給食給水活動訓練など。ぜひ、参加してみましょう。

